

鹿児島県 特産品協会だより

クリーンな かごしま茶の時代へ

鹿児島県の茶業は今からおよそ800年前頃から始まったといわれています。

今日の茶産地づくりをめざした積極的な茶業振興施策は、昭和40年頃からすすめられ平成17年の荒茶生産量は全国生産量の23.9%を占め、全国第2位の産地となりました。

お茶は寒暖の差が激しいほど、甘く薫り高い高品質のお茶が生まれます。鹿児島県は、まさにこの条件に合った土地で、県下各地にお茶産地が点在し、早生から晩生品種まで多様な品種が栽培されています。そのため、摘採期間が長く、また様々なニーズにあつたお茶を生産しています。「かごしま茶」は、南国特有のさわやかな香りとコクのある味が特徴で、全国茶品評会で農林大臣賞や産地賞を数多く受賞するなど、その品質は全国でもトップレベルにあります。

また、生産者がお茶の生産履歴を記帳し、消費者の皆様へ安全・安心なお茶をお届けするため管理体制を整えるとともに、天敵を使った減農薬栽培の茶づくりに取り組むなどクリーンなお茶づくりに努めています。



② いいものは必ず売れます

③ 読者だより

④ 流通最前線情報

④ 協会と手をつなぐ団体のご紹介

⑤ 香港市場動向レポート

⑥ 元気印の仲間達

⑧ 連載 哲也製
もの作りは絶望を友とせよ